

## 建議案作成に係る論点のまとめ

### はじめに

- ごみ量の増加
- コロナ禍による生活・事業活動の変化

令和4年度の基本計画の目標の達成は困難な状況

「プラ」「食品ロス」「枝・草・葉」「古紙類」のさらなる減量・資源化について検討

### 方向性

### 具体的な実施方法

#### 1 プラスチック

1 暮らしの中のプラスチックごみ削減

- 商店会・商工会等と連携し、プラスチックの削減に取り組む事業者のPR
- リユース食器貸し出しの推進・拡大

2 容器包装プラスチックの分別徹底

- 各種情報媒体や出前講座による周知
- 「ごみアプリ」や集合住宅の管理者等を通じ、転入者や無関心層にアピール など

3 ポイ捨て防止・海ごみ対策

- ポイ捨て防止・海ごみ対策の周知
- 地域団体との連携による清掃活動の継続

#### 2 食品ロス

1 家庭でのリデュース

- 各種情報媒体やキャンペーンにより家庭内での食品の適正管理などを広報、啓発

2 事業所でのリデュース

- 事業者への情報提供、啓発
- リサイクル協力店制度の活用 など

3 食品ロスの有効利用

- フードバンク活動に関する情報提供、関係者のネットワークづくり支援 など

#### 3 枝・草・葉

1 新たな資源化方法の導入に向けた検討

- 枝・草・葉の分別収集・資源化の導入のあり方について検討

2 有効利用の促進

- 剪定枝チップ化事業をはじめ、家庭内での有効利用を促進

#### 4 古紙類

1 古紙分別（特に雑がみ）の徹底

- 各種媒体により雑がみの分別を広報・啓発
- 集団回収団体の維持・確保、人材の育成
- リサイクル協力店制度の活用

2 古紙類の品質向上のための方策の検討

- 禁忌品や異物の混入の防止を周知・徹底